



ひなまつりの本



名古屋市図書館発行

読むめやす ★0～2歳 ★★★3～4歳 ★★★★★5～6歳

ポンコちゃんのおひなさま (紙芝居)

ひろかわさえこ/脚本・絵 童心社 ★★★



こだぬきのポンコちゃんは、人間のおひなさまを初めて見て、自分もおひなさまがほしくなります。次の日、ポンコちゃんがおうちに帰ると、立派なおひなさまがならんでいました。でも、おとうさんとおかあさんがいません。あれ？もしかして…。子どもの願いをかなえてあげたい両親の、たぬきならではの発想が楽しい紙芝居です。

おばあちゃんのおひなちらし

野村たかあき/作・絵 佼成出版社 絵本 ★★★



きりちゃんのおばあちゃんが、ひなにんぎょうを飾る意味や、ひなちらし・はまぐりのうしおじる・ひしもちに込められた願いを教えてください。家族みんなでひなまつりの準備をしたりおいわいをしたりするおはなしを読むうちに、ひなまつりの由来が分かります。

なぜ、おひなさまをかざるの？ (紙芝居)

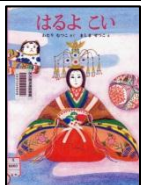
三谷亮子/脚本 川上尚子/絵 童心社 ★★★



もうすぐひなまつり。おひなさまを出していたウサコは、おひなさまを飾るわけを知りたくなりました。そこで、山いちばんの物知りのやまんばにきいてみたところ、子どもの病気や悪いことを身代わりになって引き受けてくれる流しひなが起源であることを教えてくださいました。おひなさまが子どもを守ってくれることをやさしく伝えられるお話です。

はるよこい

わたりむつこ/さく ましませつこ/え 福音館書店 絵本 ★★★



ももこはいなかのおばあさんの家で、蔵にしまってあった古いおひなさまを見せてもらいます。その夜、夢の中でおひなさまは春を招く宴をひらいていました。すると翌朝、雪がとけ梅の花がたくさん咲いていました。温かみのある絵が優しい印象を残します。

もりのひなまつり

こいでやすこ/さく 福音館書店 絵本 ★★★



おひなさまが、のねずみ子ども会からもりのひなまつりへ招待されました。歌ったり踊ったりの楽しいひなまつりが終わると、辺りはどんどん暗くなり、雪が降ってきてしまいました。おひなさま達はちゃんと、家の人に気づかれる前におうちに帰れるのでしょうか。